

学校だより



岡山県の緊急事態宣言が6月20日まで延長になりました。現在猛威を振るっている新型コロナウイルス変異株は、感染力が大変強いと言われており、子どもたちも次々と感染しているようでとても心配です。子どもの感染者の多くが家庭内感染という報道もありますので、保護者の皆様が感染しないよう細心の注意をお願いします。学校でも油断することなく、マスク着用・活動後の手洗い・常時換気・給食時の黙食・消毒等を徹底していきます。今月も県内・市内の新型コロナウイルスの感染状況を注視し、浅口市教育委員会とも相談しながら教育活動を進めていきますが、場合によっては、予定している行事や活動等の延期や中止、活動内容の変更の可能性がります。その際には、メール配信や文書で速やかにお伝えします。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



さて、異例の早さで梅雨入りし、うとうしい天気が続いています。田畑にとっては恵みをもたらす大事な雨ですが、豪雨による災害も心配です。警報発令時の対応や避難場所の確認等、非常時の備えもよろしくお願い致します。梅雨の時期は、屋外で身体をしっかりと動かすことができず、子どもたちにはストレスがたまりそうですが、落ち着いて学習に取り組んだり読書をしたりするには良い時期だと考えます。タブレット端末も有効に活用しながら、子どもたちの学力向上のため全職員で頑張っていきますので、ご支援とご協力を引き続きよろしくお願い致します。



【 人権教育 】

新型コロナウイルス感染者への差別や偏見、インターネット上での個人に対する誹謗中傷など世の中の人権問題が後を絶ちません。学校でも毎年人権教育を意図的・計画的に行っているところですが、友達に対して思いやりのない言動をとってしまう場面がまだまだ見られます。そこで今年も人権意識の高揚を図り、子どもたち一人一人が、「差別やいじめのない明るい学校」にしていくためにはどうすればよいかを考え、実践できるように、5月31日～6月11日の期間を校内人権週間として様々な取組を行います。



- 学級のめあての作成と実践
- 何でも相談（児童の心配事や悩み等の把握）
- 友達がしてくれてうれしかったことをカードに記入して掲示
- なかよし郵便
- なかよし遊び、友遊タイム
- 人権に関する授業（道徳や学級活動等）

【 お願い 】

☆学校からの様々な連絡や緊急時の対応等のメールが届くように、以前から保護者の皆様にメール配信サービスへの登録をお願いし、本年度の新入生の保護者の皆様を加えて全世帯で登録していただきました。しかし、5月中旬から全登録者に3回配信をしていますが、学校で配信状況を調べると、配信できない方がおられます。アドレスや受信設定の変更が原因と思われるので、5月中旬以降に学校からのメールが届いていない方は、至急連絡帳や電話でお知らせください。

☆学校から毎月の行事予定を配信していますが、その中で、**空き缶リサイクル、花持ち寄り、わくわく挨拶デー**に印をつけていますので、一層のご協力をよろしくお願い致します。

【 こだまの話 】

昨年度の学校評価アンケートで、子どもの言葉遣いが良くないと答えた保護者の方が3割以上いました。確かに子どもたちの言葉が気になります。人を傷付ける言葉を平気で発している子もいます。先月の児童朝会で、有名な童謡詩人である金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩を紹介しました。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。「ばか」というと「ばか」という。「もう遊ばない」というと「遊ばない」という。そして、あとでさみしくなって、「ごめんね」というと「ごめんね」という。こだまでしょうか。いいえだれでも。

詩を紹介した後、このような話をしました。

『金子さんのこの詩は、単にこだまのことを書いているのではありません。この詩の最後の行には、「いいえだれでも」と書いてあります。つまり、同じ言葉を返すのは、人間も同じなのです。自分が嫌な言葉を言えば、相手も嫌な言葉で返してきます。反対に、自分が優しい言葉を掛ければ、相手も優しい言葉を返してくれます。みんなは、友達にどんな言葉をかけていますか。もし、自分が友達から嫌な言葉を言われて傷つくことがあったとしたら、あなた自身も友達に同じような言葉を言っているのかもしれない。言葉は人を幸せにすることもできますが、人を深く傷つけることもあります。優しい言葉のこだまがいっぱいの鴨方西小学校にいきましょう。』



ご家庭ではいかがでしょうか。優しい言葉が更にあふれるよう保護者の皆様がお手本になってください。